

本部かわら版

発行責任者
神奈川県隊友会
事務局



会務報告

県隊友会事務局

- 一 本年6月発行のかわら版(44号)以降、県隊友会としては次のような事業を実施しました。
 - ・本部定時総会等への参加(会長)(6月22・23日、市ヶ谷)
 - ・第一回安全防災部会(7月16日)
 - ・音楽祭の調整会議(7月22日)
 - ・九都県市総合防災訓練
横浜(8/22)、川崎・相模原(9/4)
 - ・今後の行事予定
 - ・第二四半期県理事役会(9月17日)
 - ・神奈川地方協力本部
 - ・ビッグレスキユウ神奈川(10月16日)
 - ・神奈川県殉職自衛官追悼式(11月17日)
陸上自衛隊武山駐屯地
 - ・第三四半期県理事役会(12月18日)
 - ・かながわ労働プラザ
 - ・防衛講演会(12月18日)
 - ・かながわ労働プラザ
 - ・海岸線を有する横須賀警備区自治体等との
防災連絡会議への参加(実施日未定)
 - ・防衛諸団体合同賀詞交歓会(1月13日)
かながわ労働プラザ
 - ・第一空挺団訓練始め研修(1月中旬)

- ・県隊友会防災図上訓練(2月4日)
- ・第4四半期県理事役会(2月25日)
- ・第2回安全防災部会(3月4日)
- ・かながわ自衛隊音楽まつり(3月5日)
- ・神奈川県民ホール



「老兵は死なず」

県隊友会会長 松岡貞義



私は平成二十二年七月に三十六年間奉職した海上自衛隊を退官後は、民間会社に勤務しながら各種自衛隊支援団体の一員として自衛隊や現役自衛隊員の側面からのサポートに務めてきた。民間会社での勤務も終わりを迎えようとしていた頃、内館牧子の「終わった人」を読み、深い感銘を受けた。東大法学部を卒業し、大手銀行で順調に出世コースを歩んでいた男が、派閥争いに破れ、子会社に向きせられ、そこで定年を迎えた男の悲哀を描いた小説である。中でも、著者の次の「あとがき」が印象的であった。「若い頃に優秀であろうと、なかりうと。美人であろうと、なかりうと。一流企業に勤務しようとして、なかりうと。人間の着地点は差がない。着地点に至るまでの人生は、学歴や資質や数々の運などにも影響され、格差や損得があるだろう。だが、社会的に「終わった人」になると同じである。横一列なのだ。」「六十代というのは、男女共にまだ生々しい年代である。いまだ「心技体」とも枯れておらず自信も自負もある。なのに、社会に「お引き取りください」と言われるのだ。」「この文章の妙な寂しさは正に当時の自分の心境そのものであると感

じた。また、太平洋戦争直後、連合国軍最高司令官ダグラス・マッカーサー將軍は絶対的な権力を持って敗戦国日本の占領統治を行ったが、朝鮮戦争での戦争指導を巡りトルーマン大統領と対立し解任された。その彼が帰国後の退任演説で述べた「Old soldiers never die. They only fade away. (老兵は死なず、ただ消え去るのみ)」という言葉が脳裏に浮かんだ。

私は幼少期身体が大きかったこともあり所謂力キ大将として振る舞い、悪さもした。そのような時には近所の親父さんから良く叱られ、時には親に知れ、親からも叱られたものである。さすがに中学に進む頃には親を悲しませる行動は慎むようになったが、今にして思えばあの当時、他人の子供である自分を叱ってくれた近所の親父さんには感謝している。最近では子供の非行や虐めが報道される事例が多く、社会問題となっている。その背景には、地域社会が子供たちの誤った行動を見て見ぬ振りをする、無関心を装う風潮があり、良い意味での頑固親父が少なくなったのではないかと思う。

人は誰も他人から好かれたいという思いはあっても、あえて嫌われたと思う人はいない。しかし、精強な組織には、あえて嫌われ役を演じる人材、頑固な指揮官や鬼軍曹が必要である。私は現役中、指揮官として厳しく部下指導に当たってきた。指揮官としての職責を果たそうとすれば、また部下を一人前に育てようとするれば、心を鬼にして、部下に対しても厳しい要求、指導を行わなければならぬのが指揮官の責務である。私自身、若い時から相当いい加減というか自分に甘いところがあったが、今の自分があるのは、若い頃に私の欠点、弱点を厳しくも暖かく指導してくれた上司、先輩のお陰だと思っていたし、あえて自分が嫌われても、そのように振舞うことが、自分

を育ててくれた組織に対する恩返しに他ならない
と思つて勤務してきた。

私は退官後も機会を捉えて全国各地の自衛隊基
地を訪れ、後輩を激励・応援してきた。その際に
先輩として気付いたことがあれば、後輩の部隊指
揮官等に対して手紙や電話で所見とともに助言を
伝えてきた。自分としては善かれとの思いから発
した助言ではあったが、後輩からすれば、「先輩余
計なお世話ですよ、お引き取りください」と見ら
れていたことであろう。しかし、それは老兵なが
ら本来組織としてのあるべき姿を、良き伝統文化
を継承して欲しいとの思いからの行為であつたと
思っているし、後悔もしていない。社会の第一線
から退いた人は「終わつた人」を自覚して生きな
さいというのは余りに寂しいと思う。

先日、隊友会会長として招待を受けて某基地の
行事に参列したが、部外の来賓に対する部隊側の
礼儀を欠いた接遇が気になり、行事終了後に当該
部隊の幕僚長に電話で苦言を呈した。幸いにも私
の指摘を真摯に受け止め迅速に対応してもらつた。
二年以上に及びコロナ禍のため部隊主催の行事が
中止や規模縮小を余儀なくされた結果、行事を担
当する総務関係者の経験不足や過去の経緯の認識
不足などが散見され、部隊の行事執行のノウハウ
が継承されていないのではと危惧している。

後輩諸君から「先輩、お引き取りください」と
見られている老兵の身であることは自覚している



が、今後も先輩として言つべきことはきちんと発
言していきたいと思うこの頃である。



ロシアのウクライナ侵攻に怒り

相談役 寺地重告



一 プーチン大統領の蛮行と国 際法違反

四日早朝、ロシアのプーチン大統
領がヒテオ声明で、ウクライナ東部

での「特別な軍事作戦」の実施を発表、ウクライ
ナ東部のドンバス地方に限らず、北側の隣国ペラ
ルシから南下したロシア軍部隊はウクライナの
首都キーウ(キエフ)などへのミサイル攻撃や空
爆を行い、ロシア黒海艦隊はウクライナ南部への
上陸作戦も始めるなど、ウクライナに全面的な侵
攻を開始する事態となり、ウクライナのゼレンス
キー大統領は戦時体制への移行を宣言した。

プーチン大統領は、ウクライナ侵攻当初「ウク
ライナのネオナチ政権を排除し、ウクライナを非
軍事化させる」としてウクライナ軍に対し、武器
を置くよう要求、「流血の事態となれば、その責
任はウクライナの政権にある」と主張した。その
うえで、「我々の計画にはウクライナの占領は含
まれていない」と述べている。

このプーチンの言葉を誰が信じられようか、プ
ーチンはウクライナのゼレンスキー政権を一方的
にネオナチ(極右民族主義)政権と決めつけてい
るが、プーチンこそが他国との平和共存を破壊す
るスターリニズム(極左翼全体主義)の代表であ
り、自ら他国に不法侵攻しておいて「流血の責任

は他国に押し付け」、「クリミア半島も不法占拠
して自国領とした」前科者が「ウクライナを占領
する意図はない」などと、バカを言うのもいい加
減にしろと言いたい。

国連憲章第二条(原則)第三項は「すべての加
盟国は、その国際紛争を平和的手段によって、国
際の平和及び安全並びに正義を危うくしないよう
に解決しなければならない」、第四項は「すべて
の加盟国は、その国際関係において、武力による
威嚇又は武力の行使を、いかなる国の領土保全又
は政治的独立に対するものも、また、国際連合の
目的と両立しない他のいかなる方法によるものも
慎まなければならない」と定めている。要する
に、国連憲章は独立国家に対する武力による不法
侵攻は認めていないのであり、今回のロシアによ
るウクライナ侵攻は完全に国際法違反であり、許
し難い蛮行である。

一 ロシアのウクライナ侵攻で見えて来たもの (一)ゼレンスキー大統領及びウクライナ国民の 国防意識

ロシア軍の侵攻当初、ゼレンスキー大統領に
対し国外脱出用の飛行機の支援提案が有つたそ
うであるが、「私は逃げる飛行機は要らない、
戦つた武器をくれ」と、国民の先頭になって戦つ
て確認する意志を示すとともに、事有ることにメ
ディアを通じてロシアの蛮
行・国際法違反を全世界に
発信し、米国や西欧諸国な
どをウクライナの味方に付
け、戦車・ロケット砲・ミ
サイルなどの武器の提供・
支援を受けることに成功し
た。ウクライナ国民も大統
領の強いリーダーシップの
下、徹底抗戦の構えであ



り、戦時下の最高指揮官と国民はかくあるべきと称賛に値する国防意識である。

(二) 国連安全保障理事会(安保理)の限界と機能不全

安保理は、国際の平和と安全の維持に責任を有している(憲章第二四条一項)が、核兵器を保有している常任理事国(米英ソ仏中)は「拒否権」を有し、安保理の決定は常任理事国の一か国の反対があると成立しない(憲章第二七条)今回のウクライナ侵攻に於いても、安保理はロシアの拒否権によりロシアの侵攻を止めることが出来ない。要するに国際社会は、主権国家に対する侵攻、核兵器の使用、原発施設への攻撃等、拒否権を有するロシアや中国の独裁政権による蛮行・国際法違反を止められない現実とその虚しさ直面し、機能不全に陥っている。

(三) 自由主義陣営の結束とプーチンの野望頓挫

プーチン大統領は早期にウクライナを平定しロシアの統制下に置くことを目論んでいたようであるが、ウクライナの激しい抵抗と武器等の提供でウクライナを支援する自由主義陣営の結束により、彼の目論見は見事に外れた。逆に、長年中立的な立場をとってきた北欧のフィンランドとスウェーデンがロシアのウクライナ侵攻に自国防衛の危険を感じ、正式に北大西洋条約機構(NATO)への加盟申請を行った。

三 ウクライナの現状と戦争終結への願望

八月二十四日でウクライナ戦争も半年が経過し、正確な数値は不明であるが、ウクライナ軍参謀本部の発表によると、ロシア軍の無差別攻撃により戦闘の激しいウクライナ東部及び南部を中心に、軍人約九千人と民間人約六千人を合わせ約一万五千人以上のウクライナ人が戦死したそうである。また、国連難民高等弁務官事務所

万人が戦火を逃れて近隣諸国等に国外避難し、さらに約六百六十万人が故郷を追われて国内での避難生活を余儀なくされているそうだ。最新のLatham情報によるとロシアとウクライナの攻防は左図のようになってきている。



ウクライナ人のみならず世界の人々は平和を望んでおり、国際法を無視し一方的にウクライナに侵襲したプーチン大統領は、世界平和のためにも、直ちにこの戦争を終結し、ロシア軍を撤収してもらいたい。

ロシア黒海艦隊の妨害で輸出できなかったウクライナの大量の穀物類が、国連やトルコの仲介で、ウクライナ南部の港から船舶による輸出が再開されたとの少し明るいニュースも有り、世界の食糧危機を軽減するためにも、海上交通が確保されることを願う。

最後に、自由主義陣営の最前線で、プーチン独裁政権下のロシア軍と戦っているウクライナを孤立させないためにも、日米や西欧諸国を中心とする自由主義陣営は、武器・弾薬の提供を含め、それ

その国が出来得る支援を継続し、一刻も早く戦争が終結してウクライナに平和が訪れることを私は切に祈る。



老人の「ぼけ防止トレーニング」

について思う

監事役 寺田 信夫



一 隊友会の皆さんは、それぞれに老化を少しでも遅らせようと少なからずサプリ接種、運動及び脳トレ等を実施されていることと思います。

① 各種の健康サプリのお試し摂取

「青魚成分EPA・DHAによる高血圧、動脈硬化防止」「野菜不足を補う青汁」「体力増強のニンニクエキス。スッ歩ホンエキス、鮫の肝油エキス」。「視力回復のためのサプリ」等数えればきりがありません。誰もが、お試し価格に釣られて一二度は試した経験があると思います。効果の見極めが難しく、継続して服用するには高すぎるので、大半はやめてしまいました。

② 身体優いに歩行運動(私も実践中)

最も簡単なのが散歩です。近所の散策から始まり、地域ブロックの一時散歩(6〜7千歩)、次に一万歩、更に一万歩を週2回以上実施する。こうなると体に少しずつ効果が出て来ます。しかし、猛暑、梅雨、真冬等においては、実施するのが嫌になるのが欠点です。

③ ミニサーキット運動(私も実践中)

「スクワット50回 下肢筋肉の維持」↓

「空手の突き左右50回
上腕・胸筋肉の引き締め」↓
「ゴルフのエアースイング2
種類20回ずつ、逆回転20
回 ウエストの絞り捻転」
↓「腕を振りながらジャンプ
50回 下肢の瞬発力と上腕の柔軟」↓「左右
両手を使っての押し引き 指・手首・腕の筋
力強化」 各種目約1〜2分、計5〜7分で、
天候、時間に関係なく実施できるので継続性が
あります。



② パズル等を解き何かと脳に刺激を与えよけを
防止しましょう。

① 数字パズル「ナンプレ」の実施（現在2年継
続中）

これは縦・横9個、合計81個の枠を作りま
す。↓それを縦・横3個ずつの9個ブロックに
分けます。約束ことは、縦の行、横の列及び各
ブロックについても1〜9の数字入れます。重
複は許されません。問題では、難しさに応じ
て、事前に数値が入れられています。

これを基に3コの列と行を見ていきます。2コ
の列に例えば3がある場合、残りの列の3を探
します。この際、他の6コ列と重複しないとこ
ろに3を入れます。縦の行・横の列・ブロック
内で数字を重複させない様に埋めていかなけれ
ばなりません。上級になると予測が難しくなり
ます。ナンプレの本は安く売っていると思いま
すので挑戦して下さい。

② 部首を組み合わせて熟語を作る問題（ネット
の問題が楽しんでいます。）

漢字を分解すると、漢字を還元するイメージ
がでない所です。

問題の一例（熟語）

辛十ネ十千十兄十口二

西十ノ十日十告十土十口二

形状認識イメージ能力が問われます。

③ 漢字の熟語を予測して共通して入る漢字を選
定するものです。

漢字の異なった読みに注意が必要です。（ネッ
トで楽しんでいきます）

問題の一例

- 内→○、前→○、○→言、○→日
- に入る同じ漢字
- 高→○、干→○、○→時、○→位
- に入る同じ漢字

④ 和文パズル横と縦のヒントから字数を合わせ
た言葉等を予測するものです。

横のヒントからは、思い出せない言葉、熟語
等を縦のヒントの1字、2字から思い起こす
ので、記憶を思い起こす演練になります。新
聞の週一回の演練で十分です。
TVのクイズ番組の活用して脳の活性
化を図りましょう。手頃です



かっくく

県央支部 入江 哲二



世界の地図を見ると、日本はど

恰好（見栄え）の良い形をした国

はない。海に囲まれていることも

その要因の一つだ。また、日本の

地図を見るとこれまた我が故郷山

口県も恰好の良い方だ。3面海に

かこまれ北西・南東に大きな島、

「のっぺらぼう」を隠すための半島もある。その
半島の内海が油谷湾だ。現・長門市油谷となった
がそこで16歳まで育った。しかし、自衛隊勤務地

で山口県内になったのは、小月・岩国航空隊の6
年間、いまでは神奈川県が一番長くなった。

山口県の片田舎で開戦まもなく「水飲み百姓」
の3男として生れた。当時油谷湾は軍艦の錨泊地
であったので付近に機雷が誤投下されていた。家
から見える軍艦の大きかったことがかすかに頭に
残っている。



25年6月朝鮮戦争勃発。岩国基地からの双胴の
グラマン爆撃機の編隊が我が家上空
を通過し朝鮮にむかっている光景
を何度か見た。「かっくくかっくく」
後にお世話になる自衛隊の前身であ
る「警察予備隊」ができたのもこの
時期、29年3月無事小学校卒業、こ
の年、陸・海・空・自衛隊が発足し
た、4年後海上自衛隊に入ることがは
夢にも思わなかった。そんな時代に
衣食住満たしてくれた自衛隊に感謝している。
特に食事が管理されていたお陰で、今も健康に暮
らしている。決して「国を守るための入隊ではな
かった」生活のための手段だったことに少し引け
目を感じている。

「恰好の良さ」は今「インスタグラム」と名を
変えてネットで若者の間で流行っている。テロで
亡くなった安倍元総理の実家およびお墓が我が中
学校の近くにあるそうだが、お参りしたことはな
い。その中学校の向いの半島の山を越え日本海に
出たところに「元乃隅稻荷神社」があり、201
8年に安倍元総理が行かれた写真が「インスタ映
え」の名所となった。その後私も帰郷した時に行
こうとしたが、道幅が狭く車も多くて引き返し
た。こんな田舎に足を運んで下さった元総理、話
題のプーチンも市内に連れてきたな！国・故郷を
愛した元総理、故郷と言っても生まれも育ちもこ
の地ではないが、故郷（国）を大切にする方だっ

た。また、自衛隊を最も信頼してくださったこと
も・・・だ！愛国の精神が一番「カッコいい」と思
うこの夏だった。最後に19年3月の安倍元総理の
ツイッターを記しておきます。

「陸で、海で、空で、こ
れまでも、これからも、
自衛隊が臨む任務には、
常に危険を伴います。国
民の命と平和な暮らしを
守るため、自ら進んで、
この困難な道へと進んで
くれた彼らは、日本国民
の誇りです。彼らを送り
出して頂いたご家族に心
から御礼申しあげま
す。」



元乃隅神社稲荷 (twitterより)



眼を覚ませよう、我が国の戦前の立ち位置と戦
後の反省を踏まえ！

(あえてタブーを排し！)

泉本部 新島 宏敏



間もなく訪れるであろう「死」
を前に、我々は何を残せるのか？
戦前、私の伯父(母親の兄)は、
敗戦が間もない混沌とした時期に、
本土から台湾へ航空燃料を運ぶ任務をおびた潜水
艦の艦長として出撃しました。

しかし、豊後水道南方で航空攻撃を受けて行方
知れずとなったと伺っています。

出撃時は、日本本土の多くが空襲を受け、敗戦
の気配が濃厚になった頃で、周囲から出撃を留め

る声を排し、伯父(海兵66期)は任務に赴いたそ
うです。

当時の我が国の世相から、伯父は当然の決断を
したと私は思っていますが・・・。

私は、海上自衛隊で、奇しくも潜水艦を撃滅す
る哨戒機の機長(TACO)を勤めてまいりまし
た。それなりのTACO(戦術航空士)としての
スキルも有していました。

私の哨戒機機長の体験から考えると、当時の潜
水艦は、水上航行中に発見される恐れがある場合
は水中に潜り、これを回避することも出来る程度
の、いわば半潜水艦であったと考えています。

現在のように常時 水中に潜った状態に近い隠密
行動がとれる艦とは大きな差があったと思います。
この時期、敗戦間際の日本から台湾へ向かう航
路は、米国の艦隊、航空機等の網のような哨戒網
を突破して進まなければならぬ、難しい行動で
あったと推測されます。

無謀とも考えられる作戦行動であったとも考え
られます。

これを覚悟のうえでの任務完遂は極めて難しい
作戦行動であり、これを強いられた大型潜水艦の
艦長、乗員は決死の覚悟であったと推察されます。

しかし、「任務第一」であった帝国海軍の命令の
もと、南海に散った海軍軍人としての気概を感じ
るものです。

さて、戦後の日本は「戦争反対、原爆ゆるすま
じ！平和」さらには「軍隊は悪(過激過剰)」等
およそ諸外国の常識とはかけ離れた方向で国造り
が進められてきました。

その裏では、GHQ等から戦時中の日本の強さ
を徹底的に壊し、二度と立ち上がれないようにあ
らゆる手段を使い、密かにかつ強力に無力化を推
し進めていたそうです。

GHQ、コミンテルンや中国共産党等とそれ

に同調するシンパが密
かに日本の弱体化を推
し進めていました。

ソ連(ロシア)、中
国、北朝鮮等の覇権国
家に周囲を囲まれなが
ら、米国の戦力により
平和一辺倒で自分の国
を自分で守ることを忘
れたかの如く、米国の
庇護のもと自分の国を
守るといふ心配をしな
くてもよい環境で約7年間過ごしてきました。

その米国の国力が最近低下し、覇権国家・中国
の国力が大きくなり、北朝鮮の弾道ミサイルの発
射、国際法を無視したロシアのウクライナへの侵
略など、のんびりしていた諸外国も徴兵制の復活、
軍事費の増額など極めて危険な情勢に、国を挙げて
自分の国を守ろうとする姿勢が露わになってき
ました。

しかし、故安倍首相が提唱した戦後レジームか
らの脱却も半ば、残念ながら武力による回避(抑
止)に消極的な政権の発足で、危機は高まるばか
りで、自ら身を挺して国を守ろうとする気概ある
政治家が少なく、他人事のような永田町の政策に
経済的な低迷も併せ、極めて危険な情勢を醸し出
した感じを受けています。

さて、このような覇権国家に囲まれた日本が、
戦後初めて味わう武力による抑止に必要な戦力の
増強は未だに確たるものは示されず、危機意識に
欠け、緊迫感も感じられない今の政府に何を望ま
れるのでしょうか。

戦後77年を経て、わが国はGHQ、CIA、
中共、国内左派が主導する反日マスメディアの影
響をまともに受け、国民には知らされないうちに

戦後GHQの日本弱体化政策
ウォーギルト・インフォメ
ーション・プログラム
~戦争について罪悪感を日本人の心に植え付ける為の宣伝プログラム~
二度と逆らえない様に
日本人の根幹となる部分から解体
見事・・・現代でも継続中

周りでこの事実を知ってる人がどれだけいますか？
戦後60年経ってもいまだにコレを知らない人も多いのではないですか？
いつまでもTV(芸能人)を見て夢中になっている場合じゃないですよ

その成果が成就されたかの如く、かつての武道的な「誠」の精神も薄くなり、国力も低下するなど、武力による抑止力も遅々として進まず、いまだに戦前の反省を正しく行えずに没落する道を転がっていくのでしょうか。

日本からの多額のODA等により中国の軍事力は大きく拡大し、いまや国際法を無視し軍事力をもって恫喝をするまでに至りました。

トランプ前大統領からは、有事には協力するが、まずは自分の国は自分で守れる抑止力を整備するように示唆されたにもかかわらず、遅々として進まない防衛力への予算の低迷に、国会議員の危機意識の薄さ、さらには世界平和統一家庭連合(旧統一教会)なる外国の宗教連合に牛耳られたこと、一部議員の多さに、命を懸けて戦って亡くなった戦前の帝国軍人らに何と云って詫言をすればよいのか言葉が見つかりません。

戦後、わが国は教育、司法、財政、マスメディアなど多くの偏向した反日勢力に、静かに国力を弱体化させられていった現実を、身をもって知る情けない状況になりました。

さて、現在のウクライナへ侵攻したロシアの侵略行為をみて、改めて日本人の安全保障に対する意識が脆弱であり、政治家を含めた国民のすべてが、「自分の国は、自分で守る」意識の醸成が必須なことが分かったのではないのでしょうか。

ウクライナへの侵攻では、戦後国際秩序の元で保護されてきた小国の独立が、大国の都合で踏みじられる現実、「自分の国を、自らが守る意志を行動で表さねば、他国の支援は受けられぬ」とがはつきりしました。

2017年と2020年の戦後価値観調査で、戦争になった場合、「貴方は国のために戦いますか?」と、世界の100か国近くの国の社会学者が、民間人を含む多くの方に問うたところ、

中国は約90%がはいと答えましたが、反面、日本は世界最低の13.2%が「はい」に留まりました。問われたのは、民間人を含む国家レベルの「自国を守る」意識で、この点で日本は課題が大きいことが明確になりました。

私は、これが戦後GHQ等が行った日本弱体化政策が成功した成果ではないかと考えています。

しかし、この調査は、ウクライナとロシアの戦争が始まる前の調査であり、ウクライナにロシアが侵攻の後での意識は大きく変化していることを期待するものです。

さらにその後、台湾に対する中国の恫喝が台湾周辺で最近行われましたが、この際、わが国のEZ内に弾道ミサイル数発が着弾しました。

このような事態は予想されていたもので、当然NSC(国家安全保障会議)会議を開き国家としての意識を示すべき事案でしたが、現在の内閣はこの国家的な危機に、国家が示すべき決意が明確な形で語られた印象が残念ながらありませんでした。

果たして米国と中国、さらにはアジアの諸国はどう感じたのでしょうか。

日本は、危機を自ら呼び込んでいるのではないのでしょうか。

わが国は覇権国家に蹂躪されないように抑止力の具体的な方策、米国との同盟の緊密化、韓国、豪州、欧州などとの共同防衛策を今、速やかに実施する必要がありますが、安全保障は防衛省、自衛隊に任せていればこと足りると考えられているとすれば、大きな間違いです。

経済安保を始め、財政、産業、法務、さらには文部教育などの国家の基盤を有する専門家(反日マスメディアを除く)の英知を集め、自分の国を守るには如何にするか。危機管理に対する意識を醸成する機会を失して

は、日本を失うことにもなりかねません。

戦後、米国主導で行われた占領政策は、一面 寛大な占領政策というイメージを定着させられましたが、「民族としての奴隷化」と、「国民としての滅亡」という運命を迎える可能性があるという「歴史的事実」を、世間の人々の「意識から消したこと」にあります。

現在のウクライナ戦争に際して「人々の犠牲を増やさないために、ウクライナ政府は早急に停戦すべきである」という趣旨の議論がまかり通っているのは、その一面であると思えます。

その帰結が、我が国の憲法9条や非暴力無抵抗主義の信仰に、何らかの意義があるかのような理想論に当たるのではないのでしょうか。

日本人にとってウクライナ侵略戦争という「他人の戦争」の風景は、大東亜戦争という「過去の自分の戦争」の教訓を活かすことで、インド・太平洋の平和の維持に我が国が大きなプレゼンスを示すことに繋がると思料します。

さらには、我が国は世界で唯一、覇権国家ロシア、中国、北朝鮮と、海上で国境が接した、地理的に特殊な環境にあることを認識しておくことが大切です。

今は平時ではないのです、何でも隠したがる外務省や、デフシを20年以上も収束できない財務省の言う通りやっていたら、こてこての対応となり国の将来はないも等しいのです。

国家があつての外交、財政、教育、司法ですがそれを支える防衛省・自衛隊は慢性的な予算不足



に喘いでいると言われております。
力の信奉者である中国政府にいくら抗議しても、日本に一定の質と量を伴った防衛力がなければ伝わらないのが現実です。
有事に準じた、毅然とした対応と実行力が、今西側諸国からも求められているのです。

参考資料(株)経営科学出版 三橋貴明

ダイレクト出版(株)

産経新聞正論、田村秀男氏の経済正解

BSFジ プライムニュース等



西湘だより

遍路雑感



西湘支部長 柏崎 誠一



私も、松岡会長と同じ様に四国巡礼を行った経験がありますので、その中で感じた事を紹介したいと思えます。四国を歩いて感じたことは、四国の人達は先人たちを大事にしていると感じました。遍路道沿いの至る所に先の大戦で犠牲になった人たちを弔う慰霊碑や忠霊塔などが護国神社や公園に建立されているのによく見かけました。

愛媛県松山市の護国神社には、旧軍関係の戦死者を祀った慰霊碑と警察消防関係者の職に殉じた人々を祀った忠魂碑が建立されておりました。

香川県高松市にある田村神社と隣接する83番札所の一宮寺に向かう参道沿いには少年飛行兵や満蒙開拓団などの慰霊碑が立ち並んで建立されておりました。

27番札所の神峯寺から28番札向かう途中にある高知県夜須町の塩谷という小さな港町は、旧海軍の小型特攻艇の特攻基地があった所で港に慰霊碑と共に海上自衛隊の護衛艦のイカリが展示され毎年の様には海上自衛隊の隊員が訪れ慰霊祭が催されるとの説明書きがありました。



震洋隊殉国慰霊碑

高知県夜須町から高知市に向かう途中の夜須町に隣接する香我美町に陸上自衛隊の高知駐屯地があり、遍路道は高知駐屯地の正門前を通る道となっており歩哨の隊員が歩いている私をジーとながめておりました。

75番札所の善通寺(弘法大師空海の出生地)の宿坊に宿泊した時、突然、消灯ラッパの音色が聞こえてきてびっくりした思いがありました。後で分かったことですが善通寺と陸上自衛隊善通寺駐屯地は、塀一つ隔てて隣接していて、それで消灯ラッパが聞こえてきたのでした。



善通寺



善通寺駐屯地正門

80番札所の国分寺から番札所の白峰時に向かう途中、遍路ころがしと云う急坂を登りきって山道を進むと左側に有刺鉄線で囲まれた施設が白峰寺近くまで続き明らかに自衛隊の施設だと判りました。

余談になりますが、愛媛県内子町に曾我兄弟を祀った神社があり、境内には曾我五郎と曾我十郎のお墓が設けられています。これには驚きました、確かに曾我兄弟は富士の裾野で処刑され、その遺骸は小田原市曾我にあるお寺にまいそくされているはずなのに、遠く離れた四国にお墓があることにおどろかされました。



秋分の日の意味を知って思うこと

西湘支部 菊島 信洋



9月23日は国民の祝日の一つ、「秋分の日」です。昼と夜の長さが同じというだけでなぜ国民の祝日なのか、以前から不思議に思っていました。ある日のこと、晩酌中にカレンダーが目に入り、突

然「どうしても知りたい」と思ってしまい、勢いのままに調べてみました。まず、秋分の日が何を祝う日なのか調べると、その根拠は昭和23年に制定された「国民の祝日に関する法律」にあります。そこには「祖先をうやまい、なくなった人への「ことごとされており、この日は特定の日ではなく秋分日をもって充てることになっていました。ちなみに春分の日は「自然をたたえ、生物をいつくしむ」とされています。まだ腑に落ちないのもう少し調べてみると、この2つの日は彼岸の中日だと分かりました。彼岸とは亡くなった人が行く極楽の世界のことで、一般的には西の方向にあるとされています。これに対し私たちが生きる世界を此岸(しがん)と言います。彼岸から見ると東にあります。太陽は東か



明仁天皇 秋季皇霊祭



伊勢神宮 秋季皇霊祭

ら登り西に沈みますが、年に2回だけこれが真東から登り真西に沈む動きになるため、彼岸と此岸が繋がる日だと考えられるようになり、その前後の日に先祖供養をするようになったという説明を見つめました。これには「なるほど」と納得したのですが、わざわざ仕事や学校を休みにしてするほどのことでもないのに、という気持ちは少し残りました。いつもならこの辺で「まあいいか。」と止めてしまおうのですが、アルコールの勢いがいつもより増していたため、珍しく調べを進めてみました。すると、実は戦前は秋分の日ではなく「秋季皇霊祭」と呼ばれていたことが分かりました。秋季皇霊祭とは歴代の天皇や皇族の神霊をまつるとともに一年の豊作に感謝する儀式で、年間に大小併せ約20回行われている宮中祭祀の一つだそうです。もともとは別々に儀式が行われていた歴代天皇や皇族の忌日でしたが、明治11年にこれらを春と秋にまとめることが法律で定められ、春季皇霊祭と秋季皇霊祭として祝日になりました。祝日になったことで国民の中にもこの儀式が徐々に浸透していき、我が国の歴史が皇祖神から始まって2000年以上も途切れず繋がっていることを多くの国民が理解するようになりまし

た。戦後になると皇霊祭は皇室の私的行事となり祝日からは消されてしまったため、私を含む戦後生まれの人はこうした儀式のことを学校でも社会でも教わる機会がなくなり、天皇や皇室のことを意識する生活様式が薄れました。ただし、これだけ長い歴史を持つ国であることを羨ましいと感じる国も多く、国賓として招かれた人が「天皇陛下に拝謁できたのが何よりの喜びです。」とコメントする報道がたびたび見られます。形は変われども昼と夜の長さが同じ日を祝日として残してくれた英断に感謝し、先祖から伝わる日本人の考え方や習慣が次の世代にもDNAとして継承されていくことを願っています。



どぶ板通り 外人バーのどぶ板通り

西湘支部 廣井 淳



海上自衛隊におられた方はもちろん、陸自や空自、また自衛隊以外の方も横須賀のどぶ板通りはご存知のことと思います。最近ではテレビ番組にもよく取り上げられア

メリカの匂いのする街並が紹介されています。50年前はあまりおしゃべりとは言えない場所でした。外人バーというのがあってカウンターでお金を払ってビールなり、つまみなりを受け取るキャッシュオンデリバリー方式でした。昭和48年3月16日のことから日記をつけているから記憶力抜群な訳ではありません。とある店のカウンターで米海軍のCPO（先任下士官）だという人がひとり飲んでいました。私も一人なのでなんとなく話をしていました。（当時英検4級、今3級）ネイビー

ツーネイビーで結構話が合うのですが「リメンバーパールハーバー」の話になって「参ったな。生まれる前の話をしないでよ」と思いましたが真珠湾攻撃からまだ30年余りしかたっていないくアメリカの軍人や市民にも生々しく覚えられている事実なのでしょう。こちらもバーのマスターの応援をもらいつつ「ノーモアヒロシマ、ノーモアナガサキ」の対空射撃で反撃しましたがなにせ途中で筆談が入ったり、締まらないことおびただしく分が悪いまま引き分けとなりました。



どぶ板通り

夜も更けてきてくだんの海軍さん、「私はアメリカに帰ったら君ぐらいの娘がいる。手紙を書かせから住所を教えてください」さて高校の授業を思い出しつつ「何丁目とか後ろの方から始まってヨコハマシティ、カナガワプリフ、ジャパンだったな」と横浜の実家の住所を紙に書いて渡しました。さて手紙が来たらどうしよう、返事は間違いだらけでも自筆がいいだろうか、翻訳業者にタイプで打ってもらって日本語の手紙を添えたほうがいいかな、そしてもっと発展したら・・・」

手紙は、きませんでした。

編集後記

皆様のご協力により無事かわら版45号を発刊することが出来ました。ご投稿いただいた皆様に感謝申し上げます。特に、西湘支部の方からの沢山の投稿ありがとうございました。引き続き宜しくお願い致します。



県事務局 小島